

みす和夫市議会レポート

市民の皆様のご意見・ご要望をお聞かせ下さい

発行／自由民主党千葉市議会議員 みす和夫事務所

千葉市緑区誉田町2-21-1189 電話291-1086



みす和夫が千葉市廃棄物減量等推進審議会会長に選任されました。



ゴミの減量化は、私たちの身近な課題であり、最も大切な課題でもあります。皆さんも一緒に考えましょう。

みす和夫

平成20年度第1回千葉市廃棄物減量等推進審議会が、去る5月15日に開催され、みす和夫が、会長に選任されました。

主な内容は、平成20年度に実施する主な取り組みと計画目標についてのほか、「焼却ごみ1/3削減」に向けた普及・啓発についてで、出席された委員の皆様から活発で有意義な意見がかわされました。

この「焼却ごみ1/3削減に向けた普及・啓発活動」については、右の4点について具体化を検討されています。

- ①. 市民、事業者、市、が協働した焼却ゴミ削減に向けた取り組み
- ②. 単身者、若いファミリー層を主要なターゲットとしたPRの実施
- ③. 説明会の開催、啓発キャンペーンの実施
- ④. 焼却ごみ1/3削減推進市民会議の設置

尚、副会長には千葉市町内自治会連絡協議会副会長の安達満夫氏を選ばれました。

政務調査研究報告

みす和夫は、焼却ごみ3分の1削減推進の取り組みについて、千葉市当局にたどしました。

千葉市環境局

千葉市では、焼却ごみ3分の1削減を推進するため、これまで様々な取り組みを行って参りました。

今年度は、15,000トンの焼却ごみの削減を目標に掲げておりますが、これらの取り組みによりすでに**9月までに約8,300トン**を削減することができました。

8月の4日・5日には、小学生のごみ出しチェック隊「ヘラソーズ」が、地元のごみステーションを巡回し、ごみの分別状況をチェックする活動を実施しました。

当日は、ごみ分別スクールを受講した小学校4年生を中心とした子どもたち43人が地元の方々とともに、6町内自治会、延べ37か所の分別状況を実際に見て、通信簿に記録し、ごみ分別への理解を深めました。

この活動が、地域の自主的なごみ分別活動の促進につながることを大いに期待しています。

また、この夏、幕張メッセや千葉マリスタジアムで開催され、12万人が来場した全国規模のロックフェスティバル「サマーズニック」において、ステージの上から、焼却ごみ3分の1削減の取り組みをアピールしました。

このほか、6月と7月には、本市の廃棄物行政等を視察するため、カナダのケベック州モントリオール地域共同体環境視察団やニューヨーク州議会議員の訪問を受けるとともに、姉妹都市のヒューストン市からの要請で、同市で開催された第1回環境セミナー「ゴーインググリーン」において、本市のリサイクル状況等について講演するなど、海外からも本市の環境への取り組みに高い関心が寄せられています。

今後とも、あらゆる機会を捉え、積極的に情報発信し、市民や事業者の皆様のご協力をいただきながら、ごみの徹底した分別と減量に取り組んで参ります。

緑区 誉田町1丁目町内会の皆様と環境問題について（広聴会）

6月22日(日)、緑区誉田町の八幡神社集会場におきまして、千葉市環境総務課の担当職員をお招きして、ごみの減量についての広聴会を開催いたしました。

町内会からは、榊原会長、奥田副会長をはじめ組長方70名の参加を頂きました。

千葉市廃棄物減量等推進審議会会長のみす和夫からも千葉市の廃棄物の現状を細かく説明し、市民一人ひとりに減量をアピールすることを訴えました。また、活発なご意見、ご要望があり大変有意義な広聴会となりました。

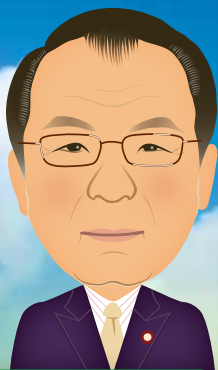


席上環境問題について説明するみす和夫

地域のみなさんとの活動

焼却ごみの1/3を減らして、経費の削減約182億円と、地球温暖化を防止しよう!!

みす和夫 からの提言



1 まず「ごみの減量」を。

買い物ときの過剰な包み紙やレジ袋、弁当の割りばしなど、すぐにごみになってしまうものは受け取らずに断る勇気が大切です。

ごみになるものを家に持ち帰らないように心がければ、後々の分別も楽になります。

2 それでも出てくるごみは、「分別」して再資源化へ。

家庭から出る、燃えるごみの3割は紙類です。つい燃えるごみにしがちな「雑紙」の分別が大切です。

ビニールやプラスチックなど紙以外のものを取り除きたたんでヒモで縛ったり、洋服の値札やメモ用紙など小さなものは封筒に入れたりとか、ひと手間かかるものがたくさんあります。

細かなものや分別がわずらわしいものをできるだけ意識することで更に分別が進みます。

3 焼却ごみ1/3削減をめざして。

緑区に住んでいる12万人の方が、焼却ごみを1/3削減することができれば、この地域だけで年間で約13,000トン（4t清掃車の5,200台分）減らすことができ、5億8,000万円（老人医療費助成額に相当 平成19年度決算額）削減できる計算になります。

市政に反映すべく活動をしてまいります。



環境のことについて

北海道洞爺湖サミットでは、地球温暖化対策や原油・食料価格の高騰問題など国際社会が直面する課題について、主要国の首脳が討議し成果を挙げました。

私たちの身近で大切な環境問題として、地球の温暖化現象をはじめとする地球環境問題と深く関わっているのが、ごみの問題です。ごみを処理するときに大きなエネルギーを必要とするほか、このままごみが増え続けるとごみ処理に大きな経費がかかるだけでなく、ごみを埋め立てる場所がなくなってしまいます。

ごみについて考えましょう

私たちの暮らしが便利で豊かになるにつれ、モノの考え方が「ごみは出るのが当たり前」のようになっていないのでしょうか。その結果として毎日、多くのごみが出されるようであれば、やはり豊かな社会とはいえません。

混ぜればごみ、分ければ資源とよく云われますが、いざ分別をしてみると戸惑うことが多いのがごみの扱いではないでしょうか。しかし、ごみの処理方法や分別の仕方を理解し、ごみの行くえにも関心を持てば、ごみの分別にもやりがいが出てくるというものです。毎日の生活には、どうしてもごみは出てきます。そんなごみのことについてちょっと考えてみましょう。

1. ごみ処理の現状はどうなっているの

千葉市では、年間42万トン（家庭系・事業系）を超えるごみを、157億円かけて処理しています。ごみ1トン当たりの処理経費は約4万4000円で、政令市の平均的なところにあります。4人家族だと1世帯当たり年間約6万8千円の経費がかかっています。

1トン当たりごみ処理経費（平成18年度各市清掃事業概要）



2. 焼却ごみ1/3削減について

清掃工場で燃やしているごみの1/3にあたる10万トンを減らして、今、3つの清掃工場で処理しているごみを2つの清掃工場で処理することができるように市では目指しています。これが計画どおりにいくと、老朽化した清掃工場の建替え費用（約182億円）が不要になるほか、地球温暖化の防止にも役立ちます。

平成19年度は、皆さんが、ごみの減量に取り組んだ結果、焼却ごみを2万4000トン減らすことができ、経費を約10億円減らすことができました。

みす和夫と ごみの削減 について 考えましょう

千葉市の 清掃工場



ごみの出し方 げんそく 3原則

①決められた日時に
ごみ出し時間
収集日の
早朝から、
朝8時まで

②決められた場所に
ごみを出す日
可燃ごみ ○○●曜日
不燃有害ごみ 第○●曜日
資源物 毎週●曜日
古紙・布類 第○●曜日

③分別して出す